

# 監視観測に人工衛星を活用！

## ～最新のリモートセンシングに関する勉強会を開催～

紀伊山系砂防事務所  
大規模土砂災害対策技術センター

平成31年1月31日(木)、紀伊山系砂防事務所において、「リモートセンシングに関する勉強会」を開催し、紀伊山系砂防事務所および本局職員を対象に**13名**が参加しました。

勉強会では、リモートセンシングとして光学写真測量から現在では一般的になった航空レーザー測量、さらには近年活用が広がっている合成開口レーダー (SAR) による変状抽出技術についても紹介し、実際に職員がSAR画像を体験する時間も設けました。

### 【プログラム】

- 開会挨拶
- リモートセンシング技術全般について
  - ① リモートセンシング技術の発展
  - ② リモートセンシング技術の原理
  - ③ 合成開口レーダー (SAR) の概要と活用事例
- 衛星SARについて
- SAR画像による地形判読について
- 全体討議

小竹事務所長からの開会挨拶



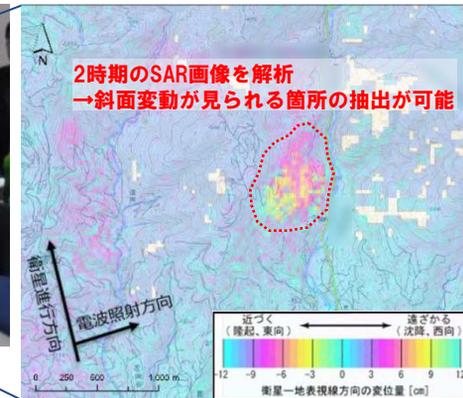
▼リモートセンシングの概要説明



▼職員によるSAR画像判読



▼干渉SAR画像解析の事例



▼全体討議



### 【参加者からのコメント】

- Q 今後技術進歩があるのはどのような部分か？
- AI技術を活用した自動判読が期待される
- Q (ダム沈下状況把握での活用事例紹介を踏まえて) 河川堤防でも活用できるか？
- 河川堤防では植生繁茂もあり難しいが、条件が良ければ可能な場合もあると考えられる

日 時：平成31年1月31日(木) 13:30～15:30

場 所：紀伊山系砂防事務所 会議室  
(奈良県五條市三在町1681)

出席者：近畿地方整備局職員、紀伊山系砂防事務所職員  
和歌山県職員 合計13名

### 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山系砂防事務所 工務課  
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681  
TEL 0747-25-3111 (代)

